



50th

ANNIVERSARY

人を育み 夢を育む 未来につなげるまち

ふ

っさ

ひとまちくらし

FUSSA CITY

福生市勢要覧2020
市制施行50周年記念



ごあいさつ

福生市は、都心から西へ約40km、美しく連なる奥多摩の山並みを望み、静かに流れる多摩川の東側に南北に横たわる武蔵野台地に開けた、人口約58,000人のまちです。鉄道交通の便に恵まれ、市内にはJR青梅線、八高線、五日市線、西武拝島線の5つの駅があり、西多摩の玄関口として発展してきました。

昭和45年7月には市制を施行し、多くの先人たちがたゆまぬ努力を続け、今年で記念すべき50周年を迎えることができました。

振り返れば、この50年という年月の間に、少子高齢化の進展など、社会構造は大きく変化し、また、情報化社会の目まぐるしい進展によって、市民ニーズも多様化しました。

このような社会の変化に的確に対応すべく、令和2年度からは「福生市総合計画（第5期）」がスタートし、目指すまちの姿として「人を育み 夢を育む 未来につながるまち ふっさ」という新たな目標を掲げています。

この「未来」をキーワードに、次の50年、100年も市民の皆様との対話を大切にしながら、「住んでよかった」「ずっと住み続けたい」と思っただけのようなまちづくりを目指して、これからも様々な施策に全力で取り組んでまいります。

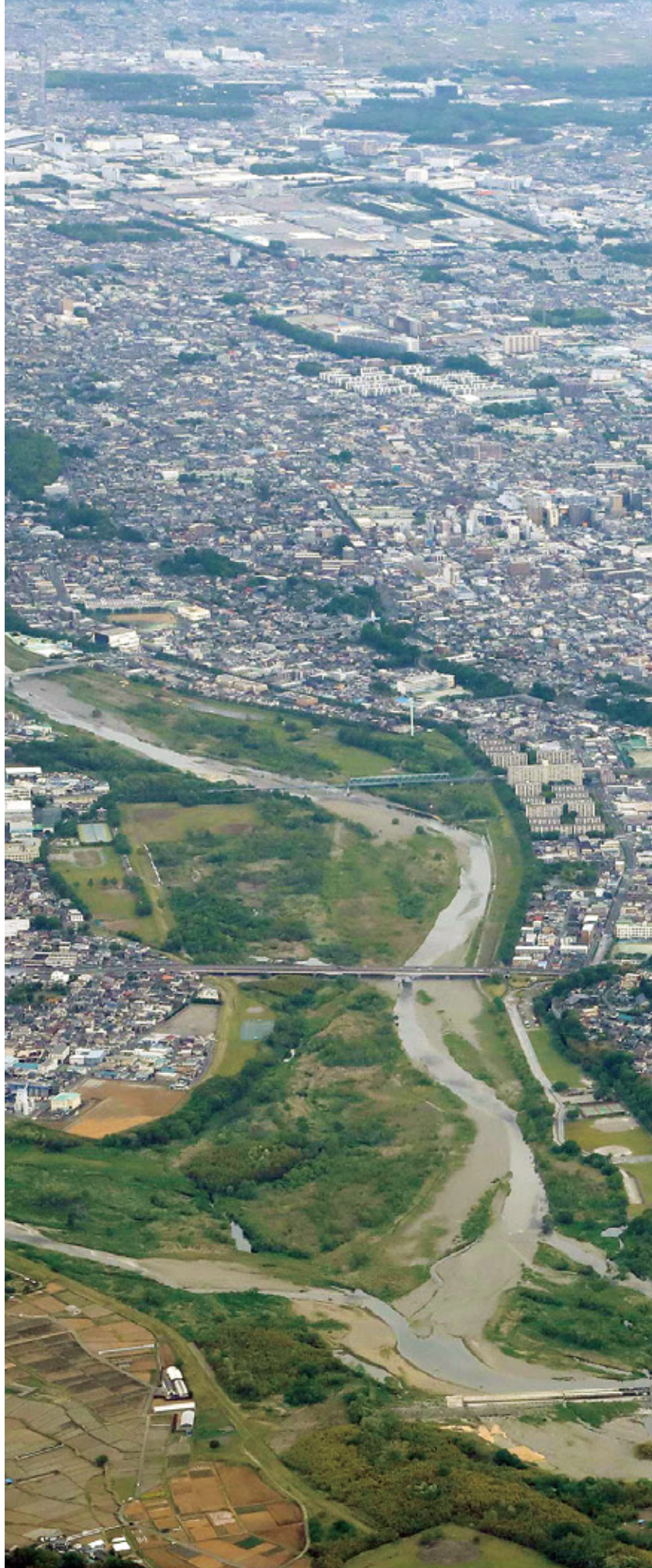
令和2年3月
福生市長 加藤 育男

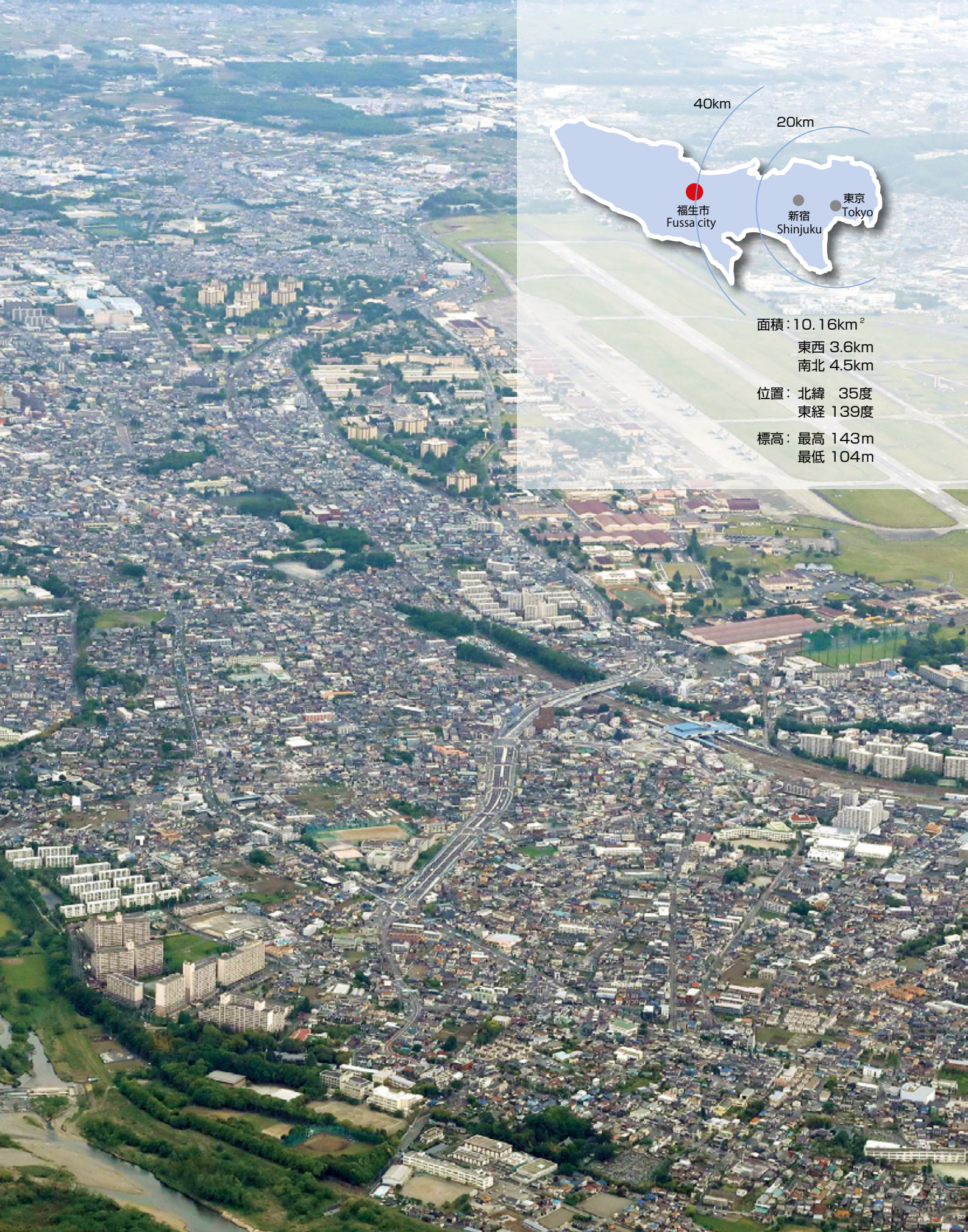
Fussa City is located at 40km from the center of Tokyo;
With a population of about 58,000 people.
Within the city, 5 stations are available on 3 JR lines and 1 Seibu line; JR Ome line, JR Hachiko line, JR Itsukaichi line, and Seibu haijima line, respectively.
July 1970 (Showa 45) : Establ : establishment of a municipal system.

This year is 50th anniversary of Fussa municipalism thanks to the untiring efforts of our forefathers.
It's the start of Fussa City's 5th generation Comprehensive plan to keep pace with the society has changed drastically.
Social (community) structure changed by the rapid aging of the population resulting from the decline in the birthrate,
The citizens' requirement is changing due to the dizzying pace of advancement of informatization.
Our goal is to ensure sustainable future of Fussa by encouraging development of people and their dreams.

This keyword 'the future' expresses our basis of policies. Our scheme is to make people feel satisfied, keeping to live in Fussa for the next centenarian.

March, 2020
Mayor of Fussa city
Ikkuo Kato





面積：10.16km²

東西 3.6km

南北 4.5km

位置：北緯 35度

東經 139度

標高：最高 143m

最低 104m

市制施行 50 周年 ～移りゆくまちの“顔”で振り返る 50 年～

1



昭和 45 年 市制施行記念



昭和 45 年 市役所窓口



昭和 48 年 福生駅西口歩行者天国



昭和 47 年 第 7 回福生ほたる祭

昭和 45 年 7 月 1 日の市制施行から、50 周年という大きな節目を迎える福生市。先人たちの歩みに敬意を表するとともに、「福生 LOVE (福生への郷土愛)」・「福生 PRIDE (福生市民としての誇り)」を醸成し、次の 50 年に向けて飛躍していきます。



昭和 48 年 NHK のど自慢



昭和 50 年 青果市場の初荷と初せり

It is 50th anniversary this year since Fussa was given city status in July 1st 1970. With the great respect to our forefathers, we continue fermenting Fussa LOVE (loyalty our home land), and Fussa PRIDE (civic pride) toward the next 50 decades.



昭和 50 年 富士見通り



昭和 50 年 雪と子ども



昭和51年 福生夏祭り



昭和51年
第2回ミス福生コンテスト



昭和53年 親子もちつき大会



昭和53年
第28回
福生七夕まつりパレード

昭和62年 春の交通安全運動



昭和59年 第1回ふっさ桜まつり



平成元年 秋の朝市



平成2年 第40回福生七夕まつり



平成3年 第1回福生ふれあいフェスティバル

市制施行 50 周年 ～移りゆくまちの“顔”で振り返る 50 年～

2

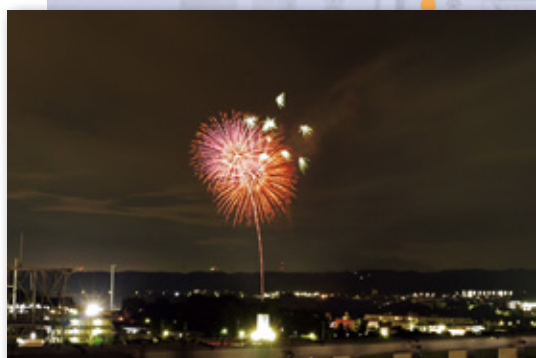
未来につながるまち ふっさ
～そして次の 50 年へ～



平成 12 年 市制施行 30 周年記念 NHK ラジオ体操



平成 25 年 スポーツ祭東京 2013
第 68 回国民体育大会ソフトボール競技（成年女子）開催



平成 22 年 第 60 回福生七夕まつり記念花火



平成 24 年 - 多摩げた食の祭典 - 大多摩 B 級グルメに「福生ドッグ」で参戦



平成 25 年 大雪



平成 26 年
ヨコタベースサイドハロウィン



平成 28 年 田村酒造場への行幸啓



平成 30 年 第 3 回銀座商栄会アート祭



令和元年 市制施行 50 周年記念ロゴマーク決定

祝

福生の歩み

福生の歩みとこれから

人口約58,000人の福生市は、明治時代以降、西多摩の玄関口や商工業の中心地として、また、東京のベッドタウンとして発展してきました。

この福生市域の歴史は縄文時代に始まります。市内にのこされた不動尊遺跡や長沢遺跡で暮らした人々が、最初に福生で生活した人々なのでしょう。その後、平安時代までは歴史の空白となりますが、11世紀になると「武蔵七党」と呼ばれる武士集団のうち、西党の平山氏が支配したと伝えられています。福生市域はこの西党の人々によって開発されたと考えられています。そして室町時代後半には、「福生郷」という地域が形成されていたことが、古文書など福生市史の研究成果から明らかにされています。

江戸時代になると、福生市域は福生村と熊川村の2か村として江戸幕府と幕府の旗本の支配により、幕末まで続きます。

明治時代になると、明治4年(1871年)の廃藩置県により、福生村と熊川村は神奈川県の所属となったのち、明治22年(1889年)に福生村熊川村組合が発足、明治26年(1893年)には東京府に移管されました。これが現在の福生市の原型です。この時代の福生市域は、酒造業や養蚕業を地場産業とする静かな農村でした。その後交通網や鉄道網の整備が進んだことで村の近代化が進み、西多摩の玄関口として商工業の中心地となっていきます。

昭和時代に入ると、福生市域は大きな転換期を迎えます。陸軍多摩飛行場など旧日本軍の施設が建設され、基地のまちとしての歩みが始まります。そして人口が増加し、急速な都市化が進んだことで福生村と熊川村は合併し、町制を施行、福生町となりました。

昭和20年(1945年)、終戦を迎えると、旧日本軍の施設は米軍に接収され、現在の米軍横田基地となりました。戦後も福生町は基地のまちとして発展しますが、同時に生活基盤や都市基盤の整備を中心に、まちづくりが進められてきました。

そして昭和45年(1970年)7月1日、人口38,749人、世帯数11,631戸をもって福生市が誕生しました。昭和55年(1980年)には市制施行10周年を迎え、新しいまちづくりの礎となり、全ての市民が日常生活でともに実践できる心の支えとして「市民憲章」を制定しました。

時代は令和となり、武蔵野の面影を残し、地域の伝統、そして先人たちの歩みや文化を継承し、東京近郊のまちとして発展してきた福生市は、令和2年(2020年)7月1日に市制施行50周年の節目を迎えます。令和2年度からは「人を育み 夢を育む 未来につながるまち ふっさ」を新たな目指すまちの姿として掲げ、「福生市総合計画(第5期)」がスタートし、「生み出す」、「守る」、「育てる」、「豊かにする」、「つなぐ」の5つの行動指針をキーワードに、更なるまちづくりの発展を推進していきます。



昭和35年 町制施行20周年記念



昭和36年頃 町役場内の様子



昭和41年頃 田園風景



昭和44年
玉川上水鉄橋を走る蒸気機関車

福生市 50 年のあゆみ

昭和

- 45 年 7月 市制施行 人口38,749 人
- 12月 世界平和都市を宣言
- 46 年 4月 つくし保育園開園・第六小学校開校
- 12月 市の木「もくせい」・市の花「つつじ」を制定
- 47 年 3月 市営と場廃止
- 48 年 3月 健康都市を宣言
- 4月 市民体育館開館、ほたる公園開園
- 49 年 4月 第七小学校、第三中学校開校
- 50 年 6月 水道事務所開設
- 51 年 4月 わかぎり会館開館
- 52 年 4月 第1期総合計画開始
- 〃 わかたけ会館開館
- 〃 福生駅自由通路開通
- 6月 市民会館、公民館開館
- 53 年 6月 扶桑会館開館
- 〃 下水道供用開始
- 7月 商工会館開館
- 11月 健康センター開所
- 54 年 4月 リサイクルセンター開所
- 5月 松林会館開館
- 7月 市営福生野球場リニューアル
- 55 年 4月 中央図書館、郷土資料室開館
- 5月 白梅会館開館
- 7月 市民憲章制定、市の歌制定
- 56 年 7月 かえで会館開館
- 57 年 4月 福生かに坂公園開園
- 〃 睦橋開通
- 58 年 9月 人口5万人を突破
- 59 年 4月 第1回ふっさ桜まつり開催
- 60 年 5月 市営競技場開場
- 7月 田園会館開館
- 61 年 8月 福生市公共下水道（汚水）完成
- 11月 福生駅橋上駅舎、自由橋完成
- 62 年 10月 熊川地域体育館開館
- 63 年 11月 「市長への手紙」制度開始

平成

- 元年 4月 中福生公園開園
- 2 年 4月 福栄公園、本六公園、みずくらいど公園、多摩川中央公園開園
- 〃 第2期総合計画開始
- 〃 心身障害者福祉施設「れんげ園」開園
- 7月 市の鳥「シジュウカラ」制定
- 〃 青少年海外派遣事業開始
- 3 年 1月 ふっさ十景制定
- 7月 プチギャラリー開館
- 9月 人口6万人を突破
- 11月 第1回福生ふれあいフェスティバル開催
- 4 年 5月 第1回ふっさ輝きフェスティバル開催
- 5 年 4月 福生公園、南公園リニューアル
- 7月 茶室福庵開館
- 6 年 7月 市営プールリニューアル
- 7 年 3月 福祉センター開所
- 〃 日光橋公園開園
- 7月 福生地域体育館開館
- 4月 情報公開制度及び個人情報保護制度の条例施行
- 11月 北海道登別市、新潟県豊栄市、三重県久居市、滋賀県守山市、山口県新南陽市との6市で災害時の応援協定締結
- 8 年 8月 武蔵野台児童館開館
- 10月 武蔵野台図書館開館
- 9 年 4月 リサイクルセンター工場棟稼働
- 10 年 4月 リサイクルプラザ開所
- 5月 保健センター開所
- 7月 自転車等駐車場を有料化
- 10月 市ホームページ開設



昭和 45 年 市制施行



昭和 45 年 世界平和都市宣言



昭和 52 年 福生駅自由通路開通



昭和 55 年
中央図書館開館



昭和 60 年 市営競技場オープン



平成 12 年 第 50 回福生七夕まつり



平成 20 年 福生市役所新庁舎完成



平成 24 年
牛浜駅自由通路リニューアル開通式



平成 25 年
たっけー☆☆が
市公式キャラクターに就任



平成 29 年 福生市 PR 動画「What's UP FUSSA」公開



平成 29 年 防災食育センターオープン



令和元年 市制施行 50 周年記念
ロゴマーク決定



平成 30 年 広報ふっさ第 1000 号発
行（表紙は創刊号の復刻版）

- 11 年 10 月 ごみと資源の収集方法変更（ごみの戸別収集開始）
- 12 年 3 月 熊川児童館開館
- 4 月 第3期総合計画開始
- 〃 介護保険制度開始
- 8 月 第50回福生七夕まつり開催
- 13 年 4 月 公立福生病院開院
- 11 月 6市（前掲）で「友好交流都市協定」締結
- 14 年 4 月 ごみ有料化開始
- 〃 羽村市・瑞穂町との戸籍証明書相互交付開始
- 8 月 住民基本台帳ネットワーク開始
- 10 月 西多摩地域図書館広域貸出開始
- 15 年 12 月 新庁舎建設基本構想策定
- 16 年 4 月 福生駅東口自由通路（ペデストリアンデッキ）開通
- 10 月 市役所時間外開庁を本格実施
- 17 年 3 月 電子申請サービス開始
- 7 月 子ども家庭支援センター開所（福祉センター内）
- 10 月 輝き市民サポートセンター開所（プチギャラリー内）
- 〃 携帯電話による市政情報提供サービス開始
- 18 年 10 月 協働のまちづくり 市政出前講座開始
- 19 年 3 月 福生スクラム・マイナス50%事業実施
- 4 月 図書館でWebサービス開始
- 10 月 ふっさっ子の広場開設
- 〃 電子庁議開始
- 20 年 4 月 新庁舎完成記念式典
- 5 月 福祉バス運行開始
- 9 月 インターネット議会中継開始
- 11 月 環境マネジメントシステム（LAS-E）導入
- 〃 病後児保育事業開始
- 21 年 2 月 「ふるさと福生寄附によるまちづくり制度」開始
- 4 月 安全安心まちづくり条例施行
- 〃 子ども応援館開館
- 6 月 基本構想（第4期）策定
- 〃 ふっさっ子の広場全校開室
- 10 月 子育て支援カード発行
- 11 月 昭島市との図書館相互利用開始
- 22 年 2 月 公立福生病院新病院開院
- 3 月 市民との協働による市制施行40周年記念映画が完成
- 4 月 第4期総合計画開始
- 12 月 観光案内所くるみる ふっさ開所
- 23 年 11 月 市ホームページリニューアル
- 24 年 1 月 次世代モビリティ活用モデル事業開始
- 3 月 観光案内所くるみる ふっさ移転
- 9 月 スポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会）リハーサル大会開催
- 10 月 牛浜駅自由通路リニューアル開通
- 25 年 3 月 福生七夕まつりイメージキャラクター「たっけー☆☆」が市公式キャラクター就任
- 9 月 第68回国民体育大会ソフトボール競技（成年女子）開催
- 12 月 詩人、吉増剛造氏に市市民栄誉章を顕彰
- 26 年 1 月 福東トモダチ公園開園
- 〃 たっけー☆☆オリジナルナンバープレート交付開始
- 7 月 福生アメリカンハウスオープン
- 〃 福生市環境マネジメントシステム（F-e）導入
- 9 月 旧ヤマジユウ田村家住宅（古民家）、国登録有形文化財（建造物）に登録
- 27 年 5 月 第1回総合教育会議開催
- 8 月 四五都市連絡協議会発足
- 28 年 4 月 地方会計制度導入
- 9 月 市ホームページリニューアル
- 29 年 1 月 福生市PR動画「What's UP FUSSA」公開
- 〃 福生市PRアニメ「Tokyo SAKE Brewery」公開
- 3 月 乾杯条例「福生市地酒で乾杯を推進する条例」制定
- 7 月 もくせい会館リニューアル
- 9 月 防災食育センター開設
- 30 年 4 月 子育て世代包括支援センター開設
- 6 月 広報ふっさ第1000号発行
- 令和元年 5 月 立川市との図書館相互利用開始
- 6 月 基本構想（第5期）策定
- 7 月 扶桑会館移転・リニューアル
- 9 月 市制施行50周年記念ロゴマーク決定

Colorful seasons in Fussa

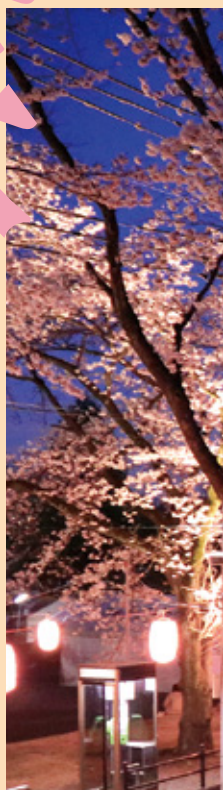
春

In spring

一年を通じて催される
様々なイベント。福生のま
ちは、四季の彩りとともに
豊かな表情を見せます

Various seasonal events
throughout the year.
On each event, Fussa shows
its beauty of seasons.

ふっさ桜まつり



In summer



福生夏祭り



福生はたる祭

福生七夕まつり





福生アメリカンハウス ハロウィン



インターナショナルフェア



市民文化祭



成人式

消防団出初式



In winter

福生駅西口 クリスマス イルミネーション

福生市民新春駅伝大会



ふっさ十景

10 typical views in fussa

～自然の色彩、都市の賑わい、永い時を経た文化の香り～

市制施行20周年を記念して、平成3年に市民の意見を参考に選定された「ふっさ十景」。福生市で長年愛され続けているスポットです。



1. 国道沿いの商店街

横田基地を横目に見ながら、約1.6kmにわたって、エキゾチックな空間が広がります。雑貨や横文字の看板など見るだけで楽しい、アメリカン・ストリート。

2. 清岩院

約600年前に建立された古刹。境内には弁天堂とめずらしい車地蔵があります。本堂と湧水のある日本庭園は風格が漂い、雪景色は息をのむほど美しいものです。

3. 熊川神社

桃山時代の社は市内最古の木造建築で素朴さの中に壮厳なたたずまいを見せています。都の重要文化財に指定された、気品ある建物です。

4. 柳山公園

自然に満ちた公園は、とりわけケヤキの大群が四季を通じて美しく、多摩川の瀬音と野鳥のさえずりが心地よく、多摩橋、永田橋、あるいは対岸からの眺めも一興です。

5. みずくらいど公園

「水喰土」この不思議な名前は、江戸時代、玉川上水の堀を掘っても掘っても厚い砂利層が水を吸い込んだことに由来しています。野趣豊かな雑木林をそのまま公園に利用したことで、起伏に富んだ景色を楽しめます。



2



3



4



5

和と洋に ふれあえるまち

6. 玉川上水新堀橋付近

玉川上水の美しい川面に四季折々の武蔵野の面影が映り、風情豊かな景観を楽しませてくれます。新東京百景の一つに選ばれた景勝です。

6

7. 南稲荷神社付近

市指定の天然記念物「大ケヤキ」と小さな赤い鳥居の風情が懐かしく、向かいの造り酒屋の黒塀との調和が見どころです。

8. 桜並木と多摩川

春らんまんの季節、多摩川の堤防は薄桃色に一面染め上げられ、福生一の桜の名所となります。盛大なふっさ桜まつりは、福生の春の訪れを告げてくれます。

9. 神明社

かつて福生村のあちこちに祭られていた七神の合社で、地元の人には「明神様」「やくし様」と親しまれています。大鳥居をくぐると桜やクスノキの大きな木が迎えてくれます。



8 7



9

10. 文化の森

柔らかな木漏れ日に輝く雑木林の散策路をたどっていくと、純和風の茶室「福庵」や銅板ぶきの図書館が姿をあらわし、周辺の緑と美しく調和しています。

10

